



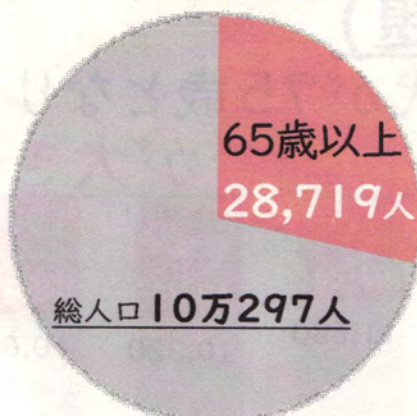
高齢者孤立防止事業 について

令和5年10月3日(火)

可見市 高齢福祉課 地域包括ケア推進係



可見市の高齢化率 ~R5.4.1現在~



高齢化率
28.63% ↑

*全国の高齢化率 **29%** (R4.10月現在)

地区別の高齢化率

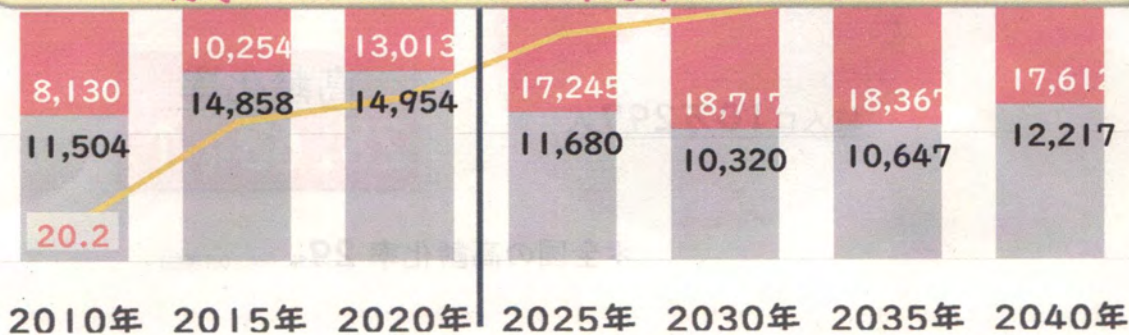


	~R5.4.1現在~	R4.4.1時点
第1位 愛岐ヶ丘	50.53%	50.53% (1位)
第2位 羽生ヶ丘	48.48%	47.16% (3位)
第3位 鳩吹台	48.18%	47.73% (2位)
第4位 緑	46.61%	46.59% (4位)
第5位 桜ヶ丘	45.61%	45.20% (5位)
...		
第57位 星見台	2.74%	3.36%

高齢者人口の推移 (可児市)

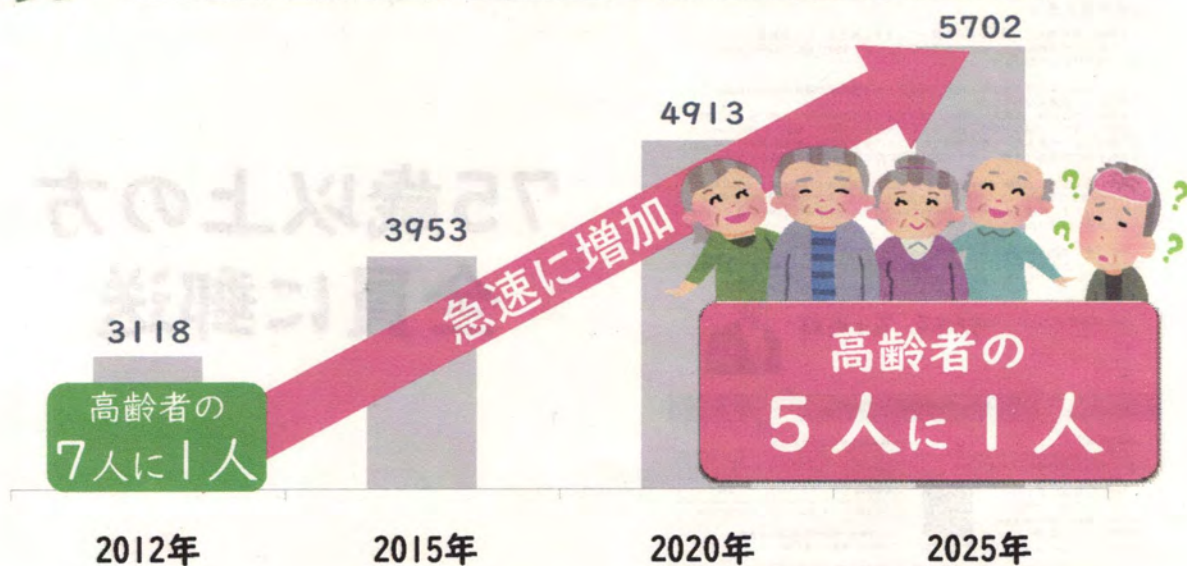
2025年(問題)

団塊世代が75歳となり
75歳以上の人口割合が大きくなる!





認知症高齢者が増加 可児市の推移(人)



サービスについて
ご紹介します。



市内に住所のある75歳以上の方に、あんきに暮らすための情報をお届けします

あんきクラブ便り 第10号

発行：令和5年7月12日 可见市高齢福祉課 電話0574-62-1111
年表紙は、各取組1冊の発行です。

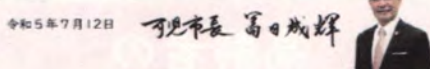
市民の皆さまへ

本格的な夏が到来し、暑い暑さが続いています。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。こまめに水分補給をし、エアコン等を使用して暑さを避けるなどの熱中症予防にご留意いただければと思います。

さて、令和5年5月3日から、新型コロナウイルス感染症の感染経路上の分類が「5類感染症」へ変更となりました。市民の皆さまには、3年余りの期間、日常生活に多くの制約やご負担が伴う中、感染症対策にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございました。なお、日常における感染症対策は、個人や事業者の判断に委ねられることになりましたが、新型コロナウイルスがなくなるわけではありません。引き続き、場面に合った感染症対策にご協力ください。

また、可见市では、令和5年7月1日から、市民の健康増進と治療にかかる負担軽減のための、80歳までに3人に1人が罹患するとされている、帯状疱疹の予防接種費用の一部助成をします。接種することで、帯状疱疹の発症率低下や重症化予防が期待できますので、是非ご検討いただければと思います。

今回の便りでは、介護予防事業や相談窓口について紹介します。長さにわたる自費期間で体力・気力の低下が懸念されます。適度な運動を取り入れ、痛みがなければ気軽に散歩をし、いつまでも元気に楽しく過ごしたいですね。



令和5年7月12日 可见市長 冨日 成輝

帯状疱疹予防接種費用を一部助成します

<補償対象者>
令和5年度より追加で帯状疱疹予防接種を受けたい人で、令和5年度に可见市に住居登録のある50歳以上の方

<補償は、任意です>
詳しくは、お電話か7月1日投稿または可见市ホームページをご覧ください。
<https://www.city-yokka.jp/237366.htm>

<補償対象となるワクチン>

ワクチンの種類	まっつあん（1ICワクチン）	平成26年ワクチン（シンドビックス）
接種回数	1回	2回
接種金額	4,000円	10,000円/回

※接種費用は医療機関別に異なります。※助成は、上限1回です。

<問合せ先> 可见市 健康増進課 地域包括係 電話62-1111

75歳以上の方 全員に郵送

いつまでも、ココロもカラダも健康に！

可见市の「介護予防教室」を紹介します。

口腔ケアや介護や認知症を予防して、健康寿命を延ばしましょう。認知症を知り、認知症を予防するにはどんなことをすればいいの？認知症について知る、はじめての学習講座です。

おいしく歯歯歯教室 認知症を予防する。認知症を知り、認知症を予防するにはどんなことをすればいいの？認知症について知る、はじめての学習講座です。

期日	時間	場所	申込 締切日
10月24日(水) 10月25日(木)		可见市福祉センター 6:11(水)	7/27(水)
10月27日(土) 10月28日(日)	10:00	可见市福祉センター 6:11(土)	8/29(金)
10月31日(水) 11月1日(木)	11:30	可见市福祉センター 6:11(水)	10/24(水)
11月2日(金) 11月3日(土)		可见市福祉センター 6:11(金)	11/24(金)
11月7日(水) 11月8日(木)		可见市福祉センター 6:11(水)	12/22(金)

認知症についてじっくり学びます。運動習慣などの先生と一緒に、楽しみながら、身体を動かす運動教室です。イスに座って、気軽に楽しめる内容です。

認知症予防教室 はつらっ! 運動習慣などの先生と一緒に、楽しみながら、身体を動かす運動教室です。イスに座って、気軽に楽しめる内容です。

まちかど運動教室 運動習慣などの先生と一緒に、楽しみながら、身体を動かす運動教室です。イスに座って、気軽に楽しめる内容です。

期日	時間	場所	申込 締切日
10月10日 10月11日 10月12日 10月13日 10月14日 10月15日 10月16日 10月17日	20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 25:00 26:00 27:00	可见市福祉センター 6:11(水)	10/10(水)

<問合せ・申込先> 可见市 高齢福祉課 地域包括ケア推進係 電話62-1111

困ったときは・・・担当の

地域包括支援センターに相談してください！

住み慣れた地域で安心した生活を続けられるように、高齢者のみなさんを4つの面から総合的に支援します。お気軽にご相談ください。

- ～お気軽にご相談ください～
相談や悩みにお応えします
- ～暮らしに不安な点～
ご心配や不安などから権利を守ります
- ～暮らしに不安な点～
ご心配や不安などから権利を守ります
- ～暮らしに不安な点～
ご心配や不安などから権利を守ります

北部地域包括支援センター
担当：今渡・川島・工藤太・奥山
今渡682番地1
(福祉センター内)
電話 63-6200

土田地域包括支援センター
担当：土田
土田1221番地5
(可见市庁舎内)
電話 66-7171

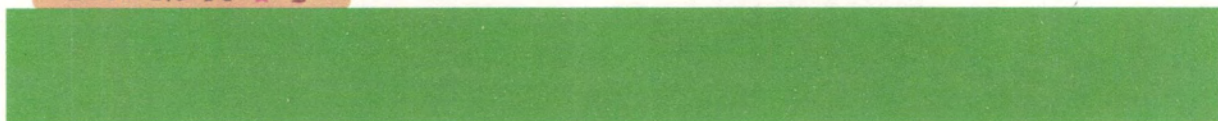
種子地域包括支援センター
担当：種子
種子1011番地
(種子福祉センター内)
電話 66-3377

南都地域包括支援センター
担当：南都・徳田
南都2707番地1
(南都町内)
電話 66-6722

可见市地域包括支援センター
担当：高橋美・高橋正・中島太
高橋正1011番地
(可见市役所2階 高齢福祉課内)
電話 62-1111

相談方法：電話、訪問
表所（事務所）留守にする場合がありますので、事前にお電話の上、ご来所ください。
相談時間：平日8時30分～17時15分まで（土曜祝、年末年始はお休みです）
※個人のアプライランスは限りなくあります。安心してご相談ください。
※相談時間外に緊急で相談したい場合は24時間お電話ください。可见市役所直通・直通から発信となります。
※相談時間外は119へ、夜間緊急事態がある場合は110へご連絡ください。

ご清聴ありがとうございました



可児市高齢者孤立防止事業について

令和5年10月3日(火)

岐阜県 可児市 福祉部

高齢福祉課 地域包括ケア推進係

1 事業の概要について

(1) 目的

高齢化の進展、地域コミュニティの希薄化など、高齢者を取り巻く社会状況が大きく変化する中、高齢者が市や社会とつながりを持つことで、孤立感を減らし、安心感を持っていつまでも住み慣れた地域で生活できるよう支援する。

(2) 実施内容(令和元～4年度)

- ・開始時期 令和元年度
- ・訪問対象者 令和元年度 ⇒ 80歳以上の市内在住の高齢者
令和2～4年度 ⇒ 当該年度に80歳になる市内在住の高齢者
- ・実施内容 対象者宅を訪問し、相談先などお知らせした内容を記載したパンフレットをお渡しし、日頃の暮らしぶりなどを聞き取る。心配な方は、後日改めて専門職が訪問。
- ・訪問者 介護認定なし ⇒ ①民生委員・児童委員 ②市職員
介護認定あり ⇒ ③ケアマネージャー及び地域包括支援センター
- ・訪問時期 10月～12月末の約3か月間

【令和元～4年度の実績】 ※介護認定なしの方

年度	訪問対象者	対象者数	音信不通	不在・断り	備考
R1	80歳以上	4,871	97	284	①4,368人 ②840人を訪問
R2	80歳	811	7	25	①629人 ②182人を訪問
R3		940	9	60	①670人 ②270人を訪問
R4		948	15	83	①652人 ②296人を訪問

※介護認定ありの方の訪問③は、R1約2,400人、R2以降約180人。

2 事業実施に至るまでの経緯について

- ・平成31年2月、孤立感を減らすサービスの提供を目的に「可児あんきクラブ」を発足。
- ・会員は、市内在住の75歳以上の高齢者。(年齢到達者は自動的に加入。手続きなし)
- ・民生委員・児童委員や行政関係者等による訪問。通信「あんきクラブ便り」の送付。
- ・令和元年10月に開始し、今年度で5年目。

(参考) あんきクラブ便り 年2回発行 R5.7月 約12,600世帯に送付(DM)

3 事業実施による成果（効果）について

- ・高齢者がどのように暮らしているのか、どのようなことに喜び、どのようなことに困っているのかなど訪問し対話をすることで初めて分かることもあり、真のニーズを直接聞くことができた。
- ・必要な方に適切なサービスを繋ぎ、継続して見守りする体制を整えることができた。

4 事業についての課題や今後の展望等について

◎課題

- ・「孤立防止」を目的として開始したが、「訪問すること」自体が目的となりつつあること
- ・今後、対象者が増加する見込みのため、訪問する人材の確保が困難であること。

【令和5年度】

上記課題への対応として

◆訪問対象者を変更

「80歳の高齢者」から、

「医療や地域とのつながりのない可能性がある健康状態不明の75歳以上の高齢者」に変更。

※対象者は、約270人（R5.9月末現在）

（補足）

今年度から高齢者の保健事業と介護予防を一体的に進めている。昨年度の健診・医療・介護データを分析したところ、75歳以上の高齢者約300名の健康状態が不明であることが分かった。

◆変更理由

- 1 事業開始から5年目を迎え、見直し時期であること。
- 2 昨年度の結果をみると「頼れる人や話せる人がいる」「外とのつながりがある」と回答した方が95%を超えていたこと。加えて、訪問した民生委員・児童委員、職員の感想をみると80歳の方の多くが元気にはつらつと生活していると回答したこと。
- 3 団塊の世代が80歳に到達する令和9年度から対象者が大きく増加するため、訪問者の確保が困難になると推測されること。
- 4 「健康状態不明者」は、孤独感を抱えていたり、孤立していたり、地域とのつながりが希薄である可能性があるため、早い段階で一人ひとりの状況把握に努め、必要な人に必要な情報やサービスを届けるための訪問にしたいと考えたこと。

◆スケジュール

- ・10月 事前アンケート「可児市人々のつながりや健康状態に関するアンケート」を送付
- ・11月～市職員（52人・26組）による個別訪問
- ・12月～専門職による訪問（見守りが必要な方）

◆今後の展望

- ・令和5年度の訪問結果、アンケート結果を基に次年度以降の事業実施内容を検討する。
- ・民生委員・児童委員、包括支援センター等と連携し、独居の高齢者の繋がりを作るイベントや教室の開催。（実施案：終活アドバイザーによるエンディングノートの書き方講座など）

〈令和 4 年度 高齢者孤立防止事業〉

各戸訪問における高齢者の暮らしについて(報告)

1. 目的

高齢化の進展、地域コミュニティの希薄化など、高齢者を取り巻く社会状況が大きく変化する中、高齢者が市や社会とつながりを持つことで、孤立感を減らし、安心感を持っていつまでも住み慣れた地域で生活できるよう支援する。

2. 訪問実施概要

- (1) 訪問者: 民生委員児童委員・市職員
 (2) 訪問期間: 令和 4 年 10 月初旬から令和 4 年 12 月末
 (3) 訪問対象者: 市内に住所のある 80 歳(昭和 17 年 4 月 1 日~昭和 18 年 4 月 1 日生※)の人(施設入所者、介護認定がある人を除く)
 ※来年度より 4 月 2 日~4 月 1 日生を対象とする。

〈訪問対象者数: 948 人〉※80 歳全体の 84%

(7 月末現在)

区分	訪問対象者		訪問対象外	80 歳 合計
	介護認定なし		介護認定あり	
人数	652 人	296 人	183 人	1,131 人
訪問者	民生委員児童委員 163 人	市職員 44 人(22 組)	ケアマネジャー 地域包括支援センター	

(4) 訪問内容

- ・高齢者に知らせたい内容を掲載した「高齢期の健康ガイド」、「防犯情報・反射材装着のチラシ」「相談・緊急連絡先一覧」等を手渡し、相談先などを紹介する中で、市や社会とつながっているという安心感を届ける。
- ・訪問者は、高齢者と会って話をする中で、日ごろの暮らしぶりなどを聞き取り、高齢者が孤立感を抱いて生活していないかなどを直接感じとる。

3. 訪問による聞き取り結果

(1) 属性

訪問対象者 948 人	聞き取りできた人	850 人(90%)
		聞き取りできなかった人

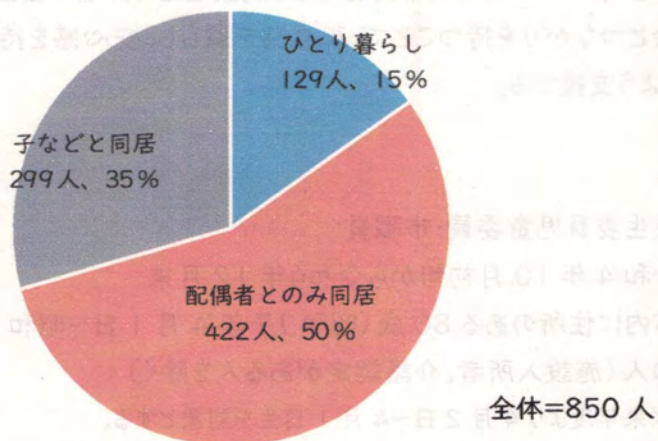
〈聞き取りできなかった主な理由〉

訪問不要、入院中、非居住、死亡 など

(2) 家族構成について

- ・ひとり暮らしの人は、129人(15%)
- ・配偶者のみと同居している人は422人(50%)で、ひとり暮らしと合わせると551人(65%)が高齢者だけで暮らしている。

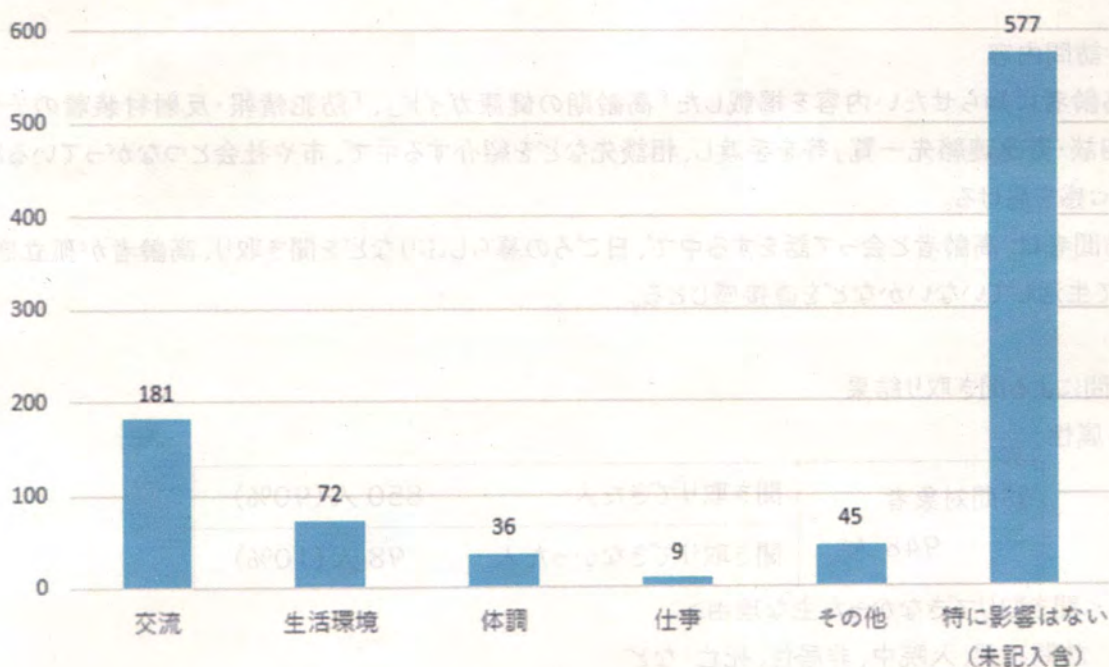
家族構成



(3) コロナ禍での影響について

- ・コロナ禍で影響を受けているものとして、「交流」と回答した人は181人。新型コロナウイルスのまん延によって、外に出る機会や人と会う機会が減ったと回答する人が多く、少なからず交流に影響を受けている。
- ・反面、「特に影響はない(未記入含む)」と回答した人が577人あり、コロナ禍の生活がある程度順応してきていると考えられる。

コロナ禍での影響 ※複数回答



(4) 生活状況などについて

① 気軽に話せる人、頼れる人はいるか(身内でも近所でも)

・気軽に話せる人が「いる」とした人は817人(96%)

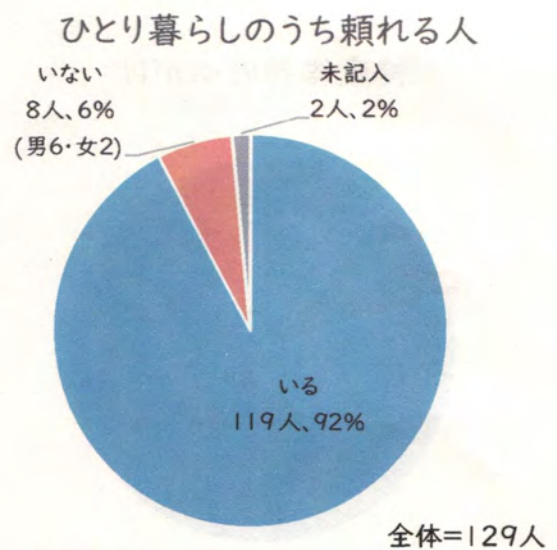
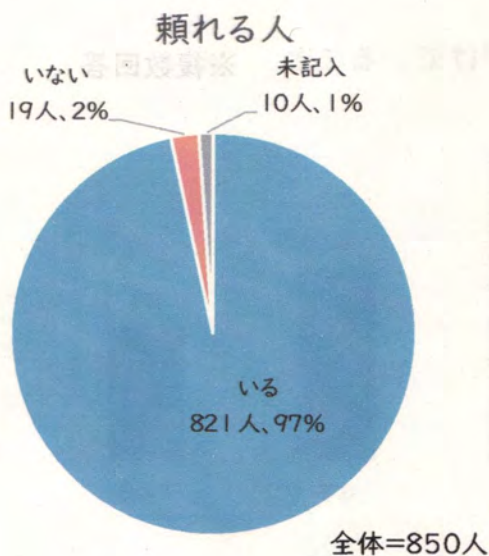
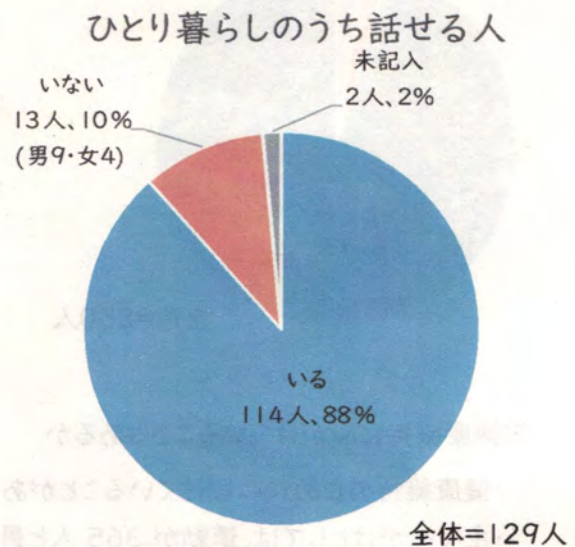
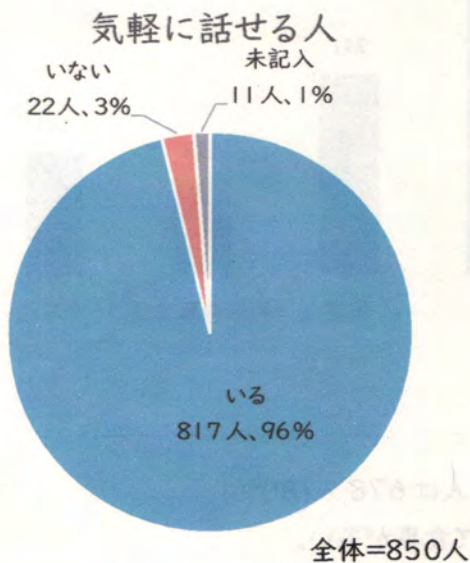
・頼れる人が「いる」とした人は、821人(97%)

で、どちらも9割以上の人気軽に話せる人または頼れる人がいる。

・市内や近隣市町村に子どもがいる人が多く、地域での通いの場に参加しているという人も多かった。

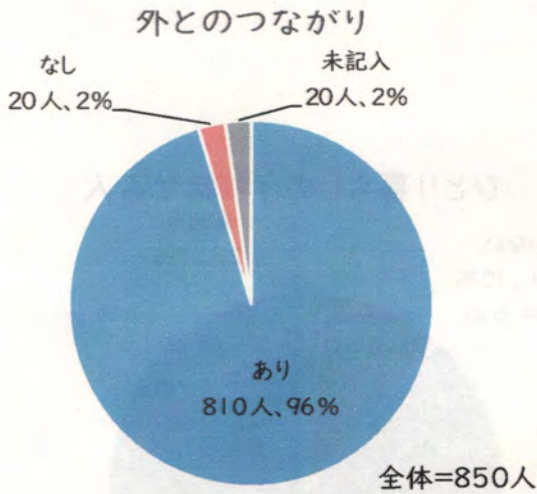
・ひとり暮らしで、気軽に話せる人や頼れる人が「いない」とした人は6人。

・配偶者や子など同居していても、気軽に話せる人や頼れる人が「いない」とした人は4人で、家族と同居していても、孤立を感じている人がいる。

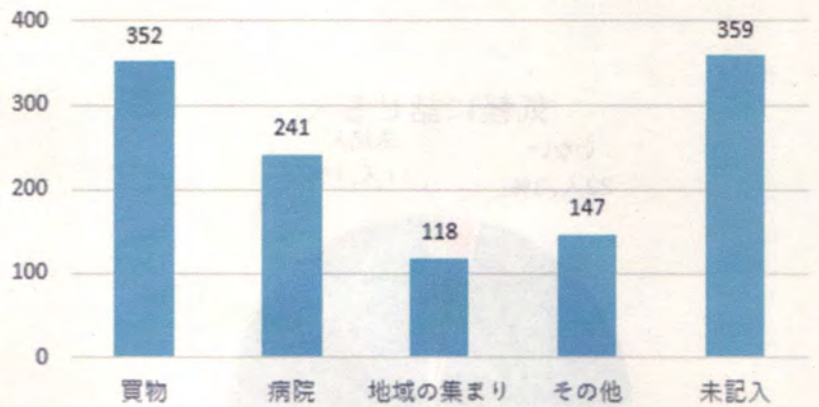


②外とのつながりがあるか(外出しているかなど)

- ・外とのつながりが「ある」とした人は810人(96%)
- ・主な外出としては、買物が最も多く、続いて病院が多い。
- ・他にも、仕事、デイサービス、ボランティア、畑、友人との会食など、様々なかたちで外とつながっている。
- ・外とのつながりがないとした20人のうち15人は頼れる人がいることから、外出はしていなくても同居者や近くに身内等がいることがうかがわれる。
- ・外とのつながりもなく、頼れる人もいないとした人は3人。



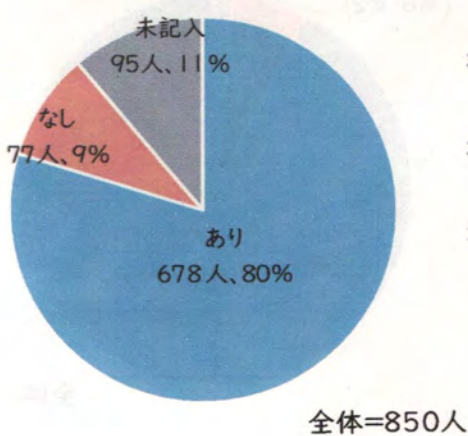
主な外出先 ※複数回答



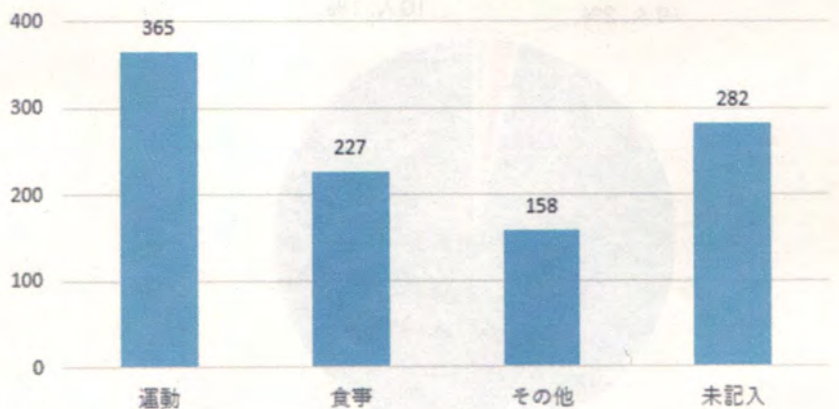
③健康維持に心がけていることはあるか

- ・健康維持のために心がけていることがあると回答した人は678人(80%)
- ・主な心がけとしては、運動が365人と最も多く、続いて食事が多い。
- ・「その他」の回答では、散歩(ウォーキング、犬の散歩)を定期的に行っている人が多く、それ以外にも畑仕事や庭仕事、脳トレ、ゴルフなどを積極的にされている様子がうかがわれた。

健康維持の心がけ



心がけていること ※複数回答



④どのような情報がほしいか(多い順)

- ・交通手段について(デマンドバスの利用方法、免許返納後の移動手手段など)
- ・健康、介護に関する情報(相談先)
- ・新型コロナウイルス情報
- ・困ったときの相談先

4. 訪問をした民生委員児童委員・市職員の主な意見、感じたこと

(1) 高齢者の暮らしについて

- ・元気で穏やかに、はつらつと生活をされている印象。日頃からスポーツや散歩等、コロナ禍でも体を動かせるよう健康維持に心掛けておられ、若々しい方が多い。
- ・「話せる」「頼れる」人がいるかとの問いに「ご近所」と言われる方が多く、日頃からお付き合いをされ、年齢差があっても趣味などを通して交流を深められている様子がうかがわれた。
- ・老人会や地域活動、ボランティアなどの活動をするなど元気な方が多く、活力のある世代と感じた。
- ・夫婦ともに体が不自由で近くに頼れる親族もいないという世帯や自宅で介護(老々介護)をされている世帯の話から、体力的にも精神的にも辛い現状を目の当たりにした。
- ・独居の方は補助の必要があり、同居者ありの方は、同居者がいない状況になった場合の不安があり、近い将来は何らかの看護が必要となる。不安を持っている人が多いと感じた。
- ・免許返納により交通手段がなくなることで、外出する機会が減り、社会から孤立することへの不安を感じている方が多かった。
- ・自動車運転免許証返納後の不便さを懸念する声が多く、公共交通の見直し、充実を要望される声はかなり多くあった。コミュニティバスの利用方法、電話でお出かけバスの認知度が低く、周知の必要性を感じた。
- ・いつまでも元気であるために高齢者の集まる場、遊ぶ場の提供を希望する声も多く、より元気に過ごしていただくために、場の提供や地域との連携も、行政の今後の課題でもあると感じた。
- ・どの方も日頃から詐欺にはかなり注意をしており、固定電話を留守電にするなどの対策もされている様子がうかがわれた。

(2) 事業全般について

<民生委員児童委員>

- ・訪問を喜んで待っている方が多く、今後も継続すべきと考える。
- ・見守り対象になるかは訪問して初めてわかることであり、今後も高齢者孤立防止事業は継続していくべきだと思う。
- ・近くにお住まいで事情がわかっているつもりでも、訪問して新たにわかることがあり、改めて話すことの大切さがわかった。
- ・この訪問でもう少し高齢者の生活を細かく伺い、どのような生活のお手伝いができればよいのか聞き、今後の見守りに生かしたいと思った。
- ・挨拶や日常的な会話をする程度の方を、民生委員として訪問した。いつもなら話すことのない家庭内の状況をお話しになり、改めて民生委員の責任の重大性を考えさせられた。
- ・特に病氣、買物等の外出に対する不便さを話す方が多い。今後民生、市等の協力を望む人が多くなっていくと思う。

- ・民生委員とはいえ、初対面の方は思慮深く、快く対応をしてくれなかった方が多かった。アンケートのかたちで対象者に聞き取り内容を郵送し、回収時に訪問するとよかったと思う。
- ・80歳に限らず、若い世代のひきこもりや8050問題を抱える世帯等への見守り事業も必要ではないのか。
- ・運転免許返納後の交通手段にお困りの方が多い。運転免許返納後の外出手段を行政で考えていただきたい。

<職員>

- ・事業に対して好意的な方が多く、「顔を見に来ました」と言うと、皆さん嬉しそうな表情をされたのが印象的だった。市の職員が自宅を訪問してくれたということ自体を喜ばれる方が多かった。
- ・訪問したことを「ありがとう」と言っていただけの方が多く、少しでも役に立てたことに意義がある。市の取り組みとしてよいことであり、継続してほしいと思う。
- ・担当した方々は元気で訪問の必要ない方ばかりだったが、それはたまたまの結果であるので、高齢者の訪問は引き続き必要だと思う。
- ・市民の生活を直に感じることは重要。訪問することで、職員としての実感を持った。
- ・子どもと同居している家では、そもそも聞くまでもなく「助けを求められる人がいる」状態であることは明らかで(そうではなかったとしても突然訪問してきた市職員に言うとは思えない)、訪問の意味はなかったと感じた。
- ・訪問対象年齢を引き上げてはどうか。また80歳になった方だけでいいのか、その後の見守りをどうするか等、課題はある。
- ・仕事等で忙しい方、給与所得があるような方への訪問は不要と感じた。「給与所得あり」「若い人との同居」を除外するなど、もう少し対象者を絞ってもいいのではないかと思う。
- ・令和3年度末データで、市の75歳以上の健診未受診かつ医療機関未受診者は2.8%いる。このような方の健康状態や社会との繋がり状況が気になり、孤立防止の訪問をしてはどうか。

令和5年10月

各 位

可児市長 富田 成輝(公印省略)

市職員による訪問 及び アンケートの実施について(お願い)

市内にお住まいの高齢者の皆さまにお会いするため、市職員がご自宅を訪問させていただきます。また、市民の皆様の健康状態や人々とのつながりを把握し、必要とする方に健康づくりや介護予防を目的としたサービスを提供できるようアンケートを実施いたします。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、同封の「可児市人々のつながりや健康状態に関するアンケート」にご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

【対象者】

令和4年度に健診受診と医療機関の受診歴がなく、かつ要介護認定がない75歳以上の方

① アンケートについて

令和5年10月25日までに、同封の「可児市人々のつながりや健康状態に関するアンケート」にご回答ください。 ※郵送回答及び Web(ウェブ)での回答が可能です。

② 訪問について

- 訪問期間 令和5年11月初旬から令和5年12月中旬
- 訪問者 市職員(必ず顔写真付きの身分を示す名札を提示します。)
- その他
 - ・日常の暮らしぶりなどをお聞かせください。
 - ・お話は玄関先で伺います。
 - ・訪問日時は、改めてハガキでご連絡いたします。

【問い合わせ先】

可児市 高齢福祉課 地域包括ケア推進係 ☎ 0574-62-1111
電子メール:koreifukusi@city.kani.lg.jp

令和5年10月

市民の皆様へ

可見市長 富田 成輝(公印省略)

可見市 人々のつながりや健康状態に関するアンケート ご協力のお願い

市は、市民の皆様の健康状態や人々とのつながりを把握し、必要な方に健康づくりや介護予防を目的としたサービスを提供できるようアンケートを実施します。

ご回答いただいた内容は、訪問の際に参考にさせていただくほか、統計・分析を行い健康づくりや介護予防等の事業に活用させていただきますが、それ以外に使用することはありませんので、ありのままをご記入ください。

当アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年10月25日(水)までに

同封の返信用封筒にて、ポストに投かんしてください(切手は不要です)。

【アンケートの対象者】

令和4年度に健診受診と医療機関の受診歴がなく、かつ要介護認定がない75歳以上の方

記入にあたってのお願い

1. このアンケートは、原則として、あて名のご本人がご回答ください。
※ご家族がご本人に意見を聞いて、代わりに回答されたり、一緒に回答されたりしてもかまいません。
2. ご回答は、令和5年10月1日現在の状況でお願いします。
3. ご回答は、選択肢の中から選んで数字に○印をつけてください。(一部、数字を記入するものがあります。)
4. ご回答の○の数は、(○はひとつだけ)、(○はいくつでも)などと表示していますので、それに合わせてください。
5. 設問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印に従って回答してください。
特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。
6. 「その他」を選んだ場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。記入しきれないときは、調査票の余白にご記入ください。



アンケートは、Web(ウェブ)回答も可能です。

<https://logoform.jp/f/6XiOp>

【問い合わせ先】

可見市 高齢福祉課 地域包括ケア推進係

☎ 0574-62-1111 電子メール:koreifukusi@city.kani.lg.jp



記入日	令和 5 年 月 日		
記入者	↓ あてはまる項目に○をつけてください。		
		あて名の本人	
		ご家族（あて名のご本人からみた続柄： ）	
		その他（ ）	

以下、あて名のご本人の情報を記入してください。

フリガナ		生年月日	大正	年	月	日
氏名			昭和			
※電話番号	自宅：		携帯：			

アンケートに回答できない場合は、あてはまる理由に○をつけてください。

① 病院等に入院中 ② 介護・福祉施設に入所中 ③ その他（ ）	➔	①～③のいずれかに○をつけた方は、 ここで回答終了です。同封の返信用 封筒（切手不要）に入れ、ポストに投 かんしてください。
--	---	---

問1 あなたの世帯（同居人含む）構成を教えてください。（○はひとつだけ）

- | | | |
|-----------------|---|-----|
| 1 ひとり世帯 ⇒ 問4へ | } | 問2へ |
| 2 夫婦のみ（一世代世帯） | | |
| 3 両親と子（二世代世帯） | | |
| 4 ひとり親と子（二世代世帯） | | |
| 5 親と子と孫（三世代世帯） | | |
| 6 その他の世帯 | | |

※「夫婦」「両親」には婚姻届を提出していない場合や同性パートナーを含みます。

問2 あなたは現在、何人でお住まいですか。（本人を含めた人数）

_____人

問3 同居している人と、どれくらいの頻度で話しますか。（○は一つだけ）

- 1 毎日
- 2 週2~3回
- 3 週1回程度
- 4 2週間に1回程度
- 5 月1回
- 6 月1回未満
- 7 全くない

問4 あなたは日頃どの程度、外出していますか。(○はひとつだけ)

- | | | |
|-----------|---|-----|
| 1 週5日以上 | } | 問5へ |
| 2 週3~4日程度 | | |
| 3 週1~2日程度 | | |
| 4 週1日未満 | } | 問6へ |
| 5 外出しない | | |

問5 最近1週間の外出の目的は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 仕事・学校
- 2 人とのつきあい・交流
- 3 趣味や娯楽、散歩や運動
- 4 地域活動・ボランティア活動
- 5 食事・買い物・日常の用事
- 6 通院
- 7 その他()

問6 最近1週間の行動範囲に含まれているものを全て選んでください。(○はいくつでも)

- 1 自宅(自室)
- 2 自宅(家族と共用の部屋)
- 3 親族・友人等の家
- 4 勤め先
- 5 高齢者サロン・デイサービス
- 6 不特定多数の人が利用する場所(公共施設・商業施設・娯楽施設・公園等)
- 7 医療機関
- 8 その他()

問7 あなたに不安や悩みが生じた場合、相談相手はいますか。(○はひとつだけ)

- 1 いる ⇒ 問8へ
- 2 いない ⇒ 問9へ

問8 あなたは誰に相談しますか。(○はいくつでも)

- 1 家族・親族
- 2 友人・知人
- 3 自治会・町内会・近所の人
- 4 職場の人
- 5 市役所・包括支援センターなどの行政機関
- 6 NPO等の民間団体・ボランティア団体
- 7 社会福祉協議会
- 8 病院・診療所の医師
- 9 テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナー
- 10 その他()
- 11 わからない(相談窓口の運営者が不明な場合を含む)

問9 あなたは不安や悩みを相談することについて、どのように感じますか。(○はいくつでも)

- 1 相談することで解決できる、また解決の手がかりを得られる
- 2 相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる
- 3 相手に連絡を取ることや、不安や悩みを説明するのが面倒である
- 4 相談することが恥ずかしい
- 5 相談すると相手の負担になる
- 6 相談しても無駄である(相談しても解決しない)
- 7 その他()

問10 あなたは、自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。(○はひとつだけ)

- 1 決してない
- 2 ほとんどない
- 3 時々ある
- 4 常にある

問11 あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。(○はひとつだけ)

- 1 決してない
- 2 ほとんどない
- 3 時々ある
- 4 常にある

問12 あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることはありますか。(○はひとつだけ)
(孤立とは：ひとりだけ他から離れて、つながる手段のない状態)

-
- | | |
|----------|--------|
| 1 決してない | 3 時々ある |
| 2 ほとんどない | 4 常にある |

問13 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(○はひとつだけ)
(孤独とは：頼れる人や心を通じ合わせる人がおらず、寂しいと思う状態)

-
- | | |
|----------|---------------|
| 1 決してない | 4 時々ある |
| 2 ほとんどない | 5 しばしばある・常にある |
| 3 たまにある | |

問14 その状況(問13で回答した状況)はどの程度前から続いていますか。(○はひとつだけ)

-
- | | |
|-------------|------------|
| 1 6ヶ月未満 | 5 3年以上5年未満 |
| 2 6ヶ月以上1年未満 | 6 5年以上 |
| 3 1年以上2年未満 | 7 その他 |
| 4 2年以上3年未満 | |

問15 あなたの現在の心身の健康状態をお答えください。(○はひとつだけ)

-
- | | |
|--------|-----------|
| 1 よい | 4 あまりよくない |
| 2 まあよい | 5 よくない |
| 3 ふつう | |

問16 あなたは、現在の生活にどの程度満足していますか。(○はひとつだけ)

-
- | | |
|-------------|-----------|
| 1 満足している | 4 やや不満である |
| 2 まあ満足している | 5 不満である |
| 3 どちらともいえない | |

問17 あなたが不安に感じていることをお答えください。(○はいくつでも)

-
- | | |
|----------|----------|
| 1 健康のこと | 4 その他() |
| 2 経済的なこと | 5 特になし |
| 3 家族のこと | |

問18 次の項目のうち、あなたが希望する情報はありますか。(○はいくつでも)

-
- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 健康診断のこと | 3 地域包括支援センターのこと |
| 2 見守りサービスのこと | 4 その他() |

問19 市政全般について、ご意見やご要望などありましたら、ご記入ください。

アンケートはこれで終了です。ご協力、ありがとうございました。

同封の返信用封筒にて、令和5年10月25日(水)までに
ポストに投かんしてください(切手不要)。